

平成 28 年度 英語科新任授業研修会 活動報告書

1. 目 標 「新しい時代の英語教育」
2. 日 時 平成 28 年 11 月 10 日（木） 13:00～15:30
3. 会 場 常葉学園橘中学・高等学校（静岡市葵区瀬名 2 丁目 1-1）
4. 参加者 教員経験 5 年以内の英語科教員および専門委員 35 名
5. 内 容

(1) 開会式 13:10～13:20 会場校代表あいさつ／部会長あいさつ
授業者・助言講師紹介

(2) 授 業 13:20～14:10 石ヶ谷洗大 先生
高校英数科 1 年 11 組「総合英語②」
CROWN English Communication I（三省堂）Lesson4

【導入】自分の意見を英語で表現するスピーキング。宿題として英検準 2 級レベルの質問の答えが記入してあり、グループ内の 3～4 人が交代で発表していく。生徒同士が”How about you?” や”Why not?” という言葉を入れながらコミュニケーションをする。終わったグループは他の種類の Q/A にも挑戦する。教師は巡回し、間違いがあれば訂正したり、英語で話し続けることを促す。

【展開】教科書本文（2 段落分）を教師が音読し、その後に生徒が各自で音読する。次に CD 音声を流し、生徒はテキストを見ずに後についてほぼ同時に読む（シャドーイング）。2 回繰り返した後、さらに 2 倍速のスピードで 4 回行う。最後に 1 回、元のスピードに戻して読む。

ホワイトボードに貼った本文中の代名詞や接続詞、重要表現に下線を引きながら内容理解を促す。生徒に投げかける質問はすべて英語。（What does “he” refer to?等）その後、教師が口頭で内容に関する 6 つの英文を繰り返す。生徒は T/F を記入し、グループで確認、答え合わせ。次にプリントに書かれた 3 つの英文の根拠となる文を本文から探し、グループで確認。最後に本文に関する質問の答えを英作文する。（What is Nobu’s “a special talent”? — I think that Nobu’s special talent is that）模範解答を板書する。

【まとめ】 reaction paper に感想やテーマに沿った英文を書かせる。

(3) 合評会 14:20～15:30

【授業者より】

- ・ 4 月から毎時間スピーキングの練習を取り入れている。4 月当初はトピックを与えたりしたが、9 月以降は英検問題を活用している。英作文の添削は全員分できる限りやっているが、大きな文法間違い以外は直さないようにしている。今日は生徒が

いつもと違う環境で緊張したのか、スピーキングの声がいつもより小さかった。

- ・ 予習を前提としているので、授業内での新出語句の意味確認等はしていない。
- ・ 毎日の宿題として英検問題を2問、週2回は文法問題を出している。

【参加者より】

- ・ All English で完璧に進めているところが素晴らしい。Shadowing も生徒がよく挑戦している。2倍速で行う意味は？
→ Listening、Speaking の力をつけるため。高速で聴いた後、普通のスピードで聴くとゆっくりに感じられることを狙いとしている。
- ・ 目標に”express their own ideas”とあるが、どのように表現させているのか？本時のスピーキング活動では事前に答えが用意できるので、自発的な活動にするにはその場で考えさせる方法もあってもよいのでは？
- ・ 英作文について最初からグループで協力していたが、I think....に合わせて一人ひとり考えさせてもよい。最終的に教師の模範解答を写していたので、何人かの生徒に前に出て書かせてもよい。
- ・ 重要表現は教科書の本文以外の使い方を練習させるのか？
→ 文法の時間が別にあるので、そこで扱っている。

【講師より助言】 静岡県教育委員会 高校教育課指導班 指導主事 河田純次氏

0 本時の授業について

- ・ 授業前に音楽を流し英語の雰囲気作りをしているところが良い。教師の言語観が表れている。
- ・ 音読する回数が多いことは効果的である。
- ・ 内容理解に答えやすい True or False を用い、生徒のことを考えて授業が構成されている

1 授業案の工夫

「本時の目標」を生徒に明確に伝えること。見学者には「授業のどこを見てほしいか」を示すこと。

2 従来の活動の順序と追加の新しい言語活動

授業内の活動の正しい順序。従来の活動に加えて、Q&A、retelling 等が活用できる。

3 語彙指導の工夫

英英辞典の活用

4 深い読みの工夫が求められている時代

『Oxford Bookworms』等の活用。テスト作りのアイデア。

5 ハンドアウトの工夫

「1時間で何回本文を読んだか」がポイント。

6 新しい英語のテスト

穴埋め、並べ替えは減らし、代わりに文や段落の並べ替えを導入する。

初見の文章を使う。パフォーマンステスト（口頭の実技テスト）。

7 動機づけの工夫

席替え、クラスルール、時間制限等の手法を用いて動機づけをする。

8 授業で大切なこと

授業が未来志向であること。授業が面白いこと。I know.の場面があること。等

9 最後に

(4) 開会式 15:20～15:30 部会長あいさつ

(記録：静岡英和女学院中学校・高等学校 瀧本真琴)